



大南地域まちづくりビジョン 概要

1. 地域まちづくりビジョンとは

わが国では、急速に少子高齢化が進み、本格的な人口減少社会を迎える中、大分市においても、今後、人口が減少に転じることが予測され、地域の活力維持や地域コミュニティの希薄化など、さまざまな課題が懸念されています。これらの課題解決のためには、行政が地域の実情や意向等を的確に把握し、市政への反映に努めることが必要と考えております。

このような状況を受け、地域の活力維持・増進を図ることを目的に、市内13地域において、各地域の代表者で構成する「地域ビジョン会議」を設置し、それぞれの地域の現状と課題などを議論し、地域の将来像として「地域まちづくりビジョン」を策定しました。

本ビジョンでは、大南地域ビジョン会議で取りまとめた「大南地域におけるまちづくりの方向性」について、大分市長に提言します。

市内13地域における地域ビジョン会議

大分中央地域	大分東部地域	大分西部地域
大分南部地域	南大分地域	鶴崎地域
大南地域	植田地域	大在地域
坂ノ市地域	佐賀関地域	野津原地域
明野地域		

2. 大南地域の対象校区

大南地域まちづくりビジョンは、戸次、判田、竹中、吉野の4校区を対象としています。



3. 大南地域まちづくりビジョンの概要



はじめに

第1章 地域の特徴

- 1 地理的特性
- 2 地域の歩み、歴史・文化的特性

第2章 地域の現状

- 1 土地利用の状況
- 2 地域資源
- 3 地域内の公共施設等
- 4 災害への対応
- 5 市民との協働によるまちづくり

第3章 人口推移と将来推計

- 1 大分市の人口推移と将来推計
- 2 大南地域の人口推移と将来推計
- 3 大分市の人口ビジョン

第4章 地域の分析

- 1 SWOT分析による地域の検証

第5章 地域のあるべき姿(将来像)

- 1 地域の将来に向けた魅力・課題
- 2 地域の将来像

第6章 将来像の実現に向けた取組

- 1 これからのまちづくりに向けた市長への提言
- 2 提言に基づく提案事業の一覧

地域ビジョン会議の中では、大南地域の将来に向けた魅力・課題の整理を行い、地域のさらなる発展のために、地域のあるべき姿(将来像)を設定し、その実現に向けた事業の提案や役割分担を行いました。

3-1. 地域の将来に向けた魅力・課題

大南地域が誇る魅力

1. 豊かな自然に恵まれた地域性
2. 歴史的町並みや郷土料理、祭りなどの地域資源
3. 暮らしやすさに通じる立地特性

大南地域が抱える課題

1. 公共交通網等の整備
2. 地域交流の拠点となる施設の整備
3. 自然災害への対応
4. 進行する過疎化への対策



大南地域まちづくりビジョン 概要

3-2. 大南地域の将来像(コンセプト)

あすを ひらこう 南の大地

将来像への思い

歴史ある町並みや自然景観の良さといった地域資源などを守りながら、大南地域にある魅力を探し出し、磨きをかけることで大南地域をより暮らしやすい大分市の南の都としていき、活気にあふれ心豊かなまちづくりを推進したいという思いを込めるとともに、明るい未来を求めていこうとする意志が伝わるよう、この将来像を設定しています。



3-3. これからのまちづくりに向けた市長への提言

わたしたち大南地域の住民が描く地域の将来像実現のため、これからのまちづくりに向けて次のとおり提言します。

提言1: だれもが安全・安心で健やかな生活がおくれるまちづくり

子どもから高齢者までだれもが安全・安心な生活がおくれるよう、身近に集える公園・広場などの整備といった子育て環境の充実や各種災害への対策に関する取組をすすめていくことが望まれます。

また、子どもから高齢者まで利用できるスポーツ施設を整備し、子どもたちの健全育成や高齢者の健康増進に関する取組をすすめ、多世代交流を促進していくことが望まれます。

提言2: 地域資源を活用したまちづくり

大南地域は豊かな自然に恵まれた地域で、水田や畑地などの農用地が広がっており、農産物の生産が盛んに行われています。加えて、戸次本町など歴史的価値の高い建造物も数多く存在しています。

このような中、歴史的な町並みを活かしたまちづくりを推進するとともに、地域資源を活用した新たな特産品の開発など、地域の特色を活かした取組が望まれます。

加えて、これらの地域の魅力を情報発信するための拠点整備も必要と考えます。

提言3: 公共交通網等の整備による住みよいまちづくり

JR中判田駅周辺においては、アクセス道路の整備など交通結節拠点としての機能強化に加え、駅のバリアフリー化をすすめるなど、だれもが訪れ、利用しやすくなるような交流拠点としての施設整備をすすめることが望まれます。

また、大南地域内には狭隘な道路も多いことから、住みよいまちづくりのための道路整備が必要であるとともに、買い物弱者などに対する支援策としてシャトルバスやコミュニティバスの活用も望まれます。

提言4: 住みたくなるまち、訪れたくなるまちづくり

大南の魅力地域住民みんなで理解し共有するとともに、地域外からも多くの人に訪れてもらうための情報提供やイベント開催などの取組が望まれます。

また、大南のにぎわいを創出するため、企業誘致の促進や移住・定住の促進を図る取組をすすめていくことが望まれます。



大南地域まちづくりビジョン 概要

3-4. 提言に基づく提案事業(役割分担を含む)の一覧

地域ビジョン会議では、地域の将来像を実現させるための前段の提言に基づき、事業の提案を行い、個人、地域、行政の役割分担についての検討を行い、下記のとおりまとめました。

提言	事業名	内容	私ができること	地域でできること	行政に望むこと
1	子育て環境の充実	・近所に、地域の人が活用でき、子どもが気軽に遊べる公園や広場などの充実	・子ども達からの意見を聞く ・地域の見守り活動	・公園ができそうな場所を探す ・小さい子どもたちが安心して遊べるための見守り活動	・公園作りにかかる費用の助成
1	安全・安心なまちづくり	・大雨時等の一時避難場所の確保(戸次地区) ・防災士のネットワークづくり、防災意識の啓発 ・排水機能や防災無線など通信機能の充実	・各団体(防災士、消防、区長会等)における会合等への参加 ・自宅を緊急避難場所として提供	・地域が一体となり施設の重要性を認識し、行政への要望をする ・定期的な訓練を継続的に行う	・避難拠点の整備 ・防災拠点の確保
1	スポーツ施設の整備などを通じ、元気な子どもたち、高齢者を増やす事業	・スポーツに親しむ場や機会をつくり、子どもや高齢者が一緒に利用することで、健康増進と多世代交流を促進 ・クラブチームなどの活動拠点となる合宿所などの確保	・総合型地域スポーツクラブに関する事業への参加	・イベントの企画立案、広報活動 ・誘致の応援 ・総合型地域スポーツクラブの活用	・スポーツ施設の早期整備 ・地域事業への支援、援助
2	自然を活かした農業体験、観光農業の促進	・大南の地の利を活かした農業体験、観光農業の促進 ・農業生産者と消費者とのふれあいの場の確保	・収穫体験する農産品の調査等への協力	・活動の場の提供 ・支援する人材の確保	・地域リーダーの育成 ・生産、販売への指導
2	地域交流・情報発信拠点の整備	・大南の魅力をPRできる道の駅のような拠点の整備 ・地元の農産品、加工品の販売	・荒れた耕作地の再利用の推進活動 ・自身の思い(意見)を伝える	・農作物の共同運搬 →集配を地域で協力的に行う	・市街化調整区域の緩和 ・地域交流、情報発信拠点の整備
2	農林資源(薬草・竹林など)を活用した地域活性化	・薬草料理教室や薬草マイスターによる講座(養成講座含む)の開催 ・地域資源を活用した商品開発などによる事業の創出	・NPO 法人などの活動への参加 ・地域内交流による情報発信など	・若い人の集まりを作る ・地域からのアイデア提案 ・空き家の利活用	・NPOと地域への橋渡し ・食品ブランド化を図るための食品加工場等の充実
3	コミュニティバスなどを活用した買い物弱者にやさしい地域づくり事業	・高齢者などの買い物弱者への支援のためのコミュニティバスの運行と併せ、ワンストップショッピングができる施設の整備 ・中判田駅を起点に大南地域を循環するシャトルバスの運行	・関係機関への呼びかけ ・免許返納後、バス等の利用	・利用促進 PR	・コミュニティバスの運行 ・運賃の補助 ・交通拠点整備
3	中判田駅とその周辺の整備	・南高校の生徒も利用しやすい駅とするための利便性の確保 ・周辺道路や駅前広場の整備 ・国道10号の拡幅に伴う、判田郵便局前交差点の改良等 ・陸橋を無くすなど、駅のバリアフリー化の推進	・整備に何が必要か、どうすれば利用しやすくなるのかといった、利用者からの意見聴取への協力	・地域交流拠点としての活用	・駅周辺整備 ・JRへの要望(バリアフリー化含む)
3	住みよいまちづくりのための道路整備(いのちを守るための道づくり)	・地域の生活道、県道、市道などの整備(幅員の確保) ・白滝橋から竹中、河原内間の街灯の整備 ・県道大分大野線、弓立上戸次線の道路整備(災害時における国道10号の迂回路の確保や緊急車両の通行路確保)	・地域の方の意見を聞く ・地域内の見回り ・高齢運転者に意見を聞く	・用地提供の協力	・道路(市道、県道、農道)整備
4	住みたくなるまち、訪れたくなるまち大南を創る	・地域の自然、緑あふれる大地の活用 ・大南の魅力を地域住民みんなで理解し共有するための情報提供やイベントの開催 ・過疎地域におけるインターネット環境等のインフラ整備	・大南地域の魅力的な場所を探す ・戸次本町の町並み保存への協力	・地域の魅力について共有する ・地域の魅力の情報発信 ・各地域のネットワークを作る	・地域の魅力を引き立てる仕掛けづくり ・過疎地域の実態把握とともに、実態に即した支援
4	企業誘致推進事業	・地域の実情に合った企業等の誘致で雇用を創出 ・耕作放棄地などの転用や、農業の6次産業化の促進 ・多方面にアクセスしやすい利点を活かした企業誘致	・地域や事業の調査、研究 ・行政、地域行事への協力 ・先進事例などの情報収集	・地域内外の異業種間との交流、連携 ・情報収集 ・行政への協力	・地域資源の特性を把握・有効活用 ・助成制度 ・関係機関(国、県など)との連携
4	市街化調整区域内における土地利用規制緩和等	・過疎地域内における耕作放棄地などの土地の有効活用 ・市街化調整区域内の未利用の土地などを市が管理、分譲(情報提供)するなど、地域に人を呼び込む仕掛けづくり	・住宅を建てたい人を募る ・地域の魅力をPR	・耕作放棄地、空き地の確認 ・所有者の調査	・住宅用地の造成 ・ライフラインの確保 ・都市計画法の特例を認める